

ただいま 委員募集中!



— 委員会一覧 —

<全11委員会>

- 意思決定支援委員会
- 退院・療養継続支援研修委員会
- 実践研究支援委員会
- 介護保険関連研修委員会
- 保証人問題委員会
- がんとソーシャルワーク研修委員会（現在募集なし）
- ソーシャルワーカーデー実行委員会（現在募集なし）
- 新任者養成研修委員会
- 機能分野別研修委員会
- 専門研修委員会
- 学生支援委員会

愛知県医療ソーシャルワーカー協会研修部

お問い合わせ 研修部：夏目・所・森下・高田・榊原

E-mail：aichimsw+training@gmail.com

委員会に参加しませんか？

コロナが5類となり、愛知県医療ソーシャルワーカー協会の研修も参集を再開しはじめました。劇的に進んだオンライン環境も活かしつつ、参集・オンライン・ハイブリッドなど、多様な研修スタイルで多くの研修を開催しています。愛知県MSW協会の研修は全国的にもかなり充実しており、オンライン化もあって全国のMSWが参加しています。

研修をはじめ、MSW協会の活動には委員会の活躍が欠かせません。委員会は研修やイベントの企画・運営、学生・市民への啓発などを行います。委員同士でMSWの専門性は何か、行う研修・イベントについて考えることは、MSWとしての能力向上にも役立ちます。何より、横のつながりを通じて、日々の業務の悩みにも必ず繋がってきます。既に参加しているメンバーにも1-2年目の若い方もおりますので、どんな年代の方も遠慮せずにご参加いただけます。

是非、皆さんに委員会にご参加いただき、お力を貸してください。ご連絡お待ちしております！！

研修部一同

- ・参加条件は、当協会の会員であること。
 - ・委員会ごとに適宜行われる会議や研修・企画当日の協力をしていただきます。日常的にはメール・Zoomでのやり取りをします。
 - ・1年単位で委嘱状の発行が可能。
- ※認定医療ソーシャルワーカーの申請に活用できます。
- ・研修マニュアル完備。
 - ・企画開催ごとに条件を満たした方へ協力費を支給。
 - ・どの委員会に参加するかは自由。
 - ・委員会や企画運営当日の交通費を経費請求可。

各研修委員会からのメッセージ

○学生支援委員会

本委員会は、学生への対応を積極的に図る趣旨で設置された委員会であり、2017年度より本格的な活動を行っています。学生支援委員会の活動目標は、以下の2点です。

- ①将来のMSW人材確保の観点から、学生に早期にMSWについて知ってもらう
- ②学生向けの研修・企画を行い、学生の進路の選択肢としてMSWをあげてもらいきっかけをつくる

これまでの具体的な活動内容は、病院・介護老人保健施設見学会の実施、MSWのお仕事紹介（動画公開）、MSWフェアの開催です。

本委員会は、医療ソーシャルワーカーと大学教員が協働して企画運営を行い、医療現場と教育現場の橋渡しをしています。

<委員会メンバー>

大賀有記（愛知県立大学）※委員長

加藤祐基（安城更生病院）

近藤千愛（自宅会員）

山口みほ（日本福祉大学／西山クリニック）



○新任者養成研修委員会

当委員会では、発足時（2006年度）には入職したばかりのMSWがどうしたら長く働き続けられるかを検討してきました。そこで、まずは新任者向けの研修として「新任者養成研修会」を開催し、以降毎年実施してまいりました。

2013年度からは、新任者オリエンテーションの枠組みの中で、社会人としての基本的な接遇についても研修として取り入れています。

現在委員会のメンバーは比較的若い方に多くご参加いただいております。今後変わりゆく社会情勢の中で新任MSWとして何を学ぶ必要があるのか、若手の意見を大いに取り入れながら養成カリキュラムの改変を検討していきたいと思っています。委員会は、普段の実践における悩みを研修に落とし込める場でもあり、横のつながりもできますよ。ぜひ気軽に委員会の様子を見に来てください。色んな方に委員としてご協力いただきたいと思いますので、ご興味・ご関心のある方は一度ご連絡ください。いつでもお待ちしております。

<委員会メンバー>

富田悠仁（尾張東部権利擁護支援センター）※委員長

内山真子（名古屋掖済会病院）

堀場知都（熱田リハビリテーション病院）

渡邊文武（まつかけシニアホスピタル）

石川貴康（名古屋市立大学病院）

倉本稜大（藤田医科大学ばんだね病院）



○専門研修委員会

新任者後の中堅者・上級者向けの研修を企画しています。

専門的な知識や技術の自己研さんのために必要なテーマを抽出し、3カ年計画の中で会員の皆さんに必要なだと考える内容を企画運営しています。まだ、その体系をつくっている過程にあります。実際には、運営委員たちが受けたかった研修、受けたい研修を想定し、企画立案に役立てています。最終的には卒後研修の一環として、会員の資質向上を目指す内容を網羅できるような研修企画を目指します。

創造的かつ質の担保を目指した専門研修委員会では、一緒に研修を運営するスタッフを求めています。「自分が受けたい研修を自分たちで創る」そういう気持ちのある人、是非とも当委員会に来てください。協会や会員の満足度の高いものを一緒に目指していきましょう。

＜委員会メンバー＞

若月亮（西知多リハビリテーション病院）※委員長

嶋田和寛（海南病院）

長谷川支保（足助病院）

櫛田あおい（海南病院）



○機能分野別研修委員会

本委員会は、急性期・回復期・慢性期の病院、介護老人保健施設、地域包括支援センターといった、所属機関の機能が異なるメンバーで構成されています。各機能分野でみられる保健医療福祉に関する問題を話し合い、他研修委員会で企画されていない内容、かつ会員はもとより、各ブロック運営にも還元できるようなツボをついた研修を企画しています。

コロナ禍では当協会のオンライン研修を先駆けて開催し、「災害ソーシャルワーク」をテーマにした研修を4回企画しました。今後は国連が定める17の持続可能な開発目標（SDGs）を基に、「ジェンダー問題」や「貧困」などの社会的課題を各領域の専門家や地域資源、コミュニティ等と共に考えていきたいと思っています。委員会メンバーはいつでも募集しています。ご興味のある方は是非お声かけください！

＜委員会メンバー＞

片寄慶（安城更生病院）※委員長

樋渡貴晴（刈谷豊田総合病院）

岩本雄気（海南病院）

末藤和正（海南病院）

野口友美（上飯田リハビリテーション病院）

渡邊徹宗（江南厚生病院）



○介護保険関連研修委員会

当協会において、現在の正会員に占める所属施設別の割合は、病院以外では老人保健施設が一番多いこともあり、介護保険関連施設と広範囲を対象領域としていますが、まずは老人保健施設の支援相談員を対象の中心としています。今後も当委員会としては、これまで研修を企画・運営してきた経験を活かして、介護保険関連施設に従事する協会員に広く参加してもらえる研修を開催することを目的に活動していきます。

<委員会メンバー>

池田寛（藤田医科大学 地域包括ケア中核センター）※委員長

石川将弘（介護老人保健施設 星ヶ丘アメニティクラブ）

小川和彦（みず里居宅介護支援事業所）

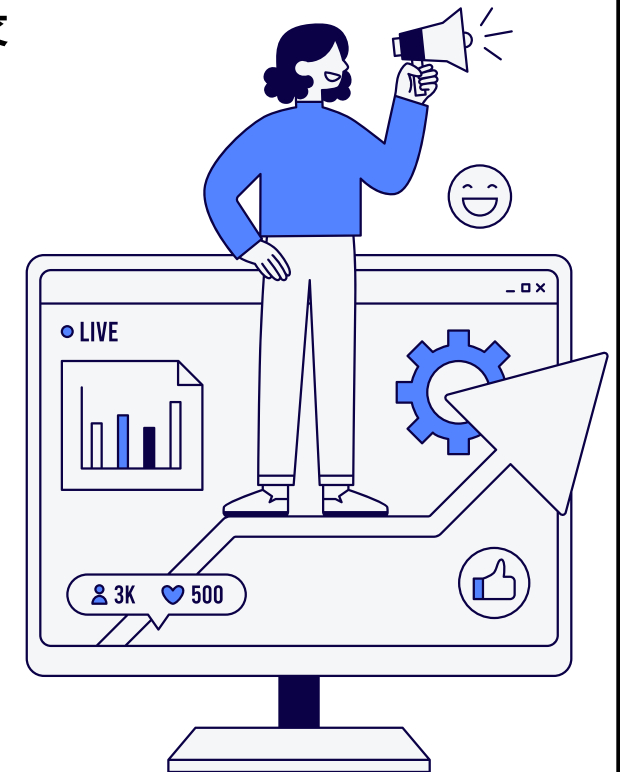
花木奈々（介護老人保健施設 あつたの森）

伊藤隆英（介護老人保健施設 尽誠苑）

小松ななみ（刈谷豊田総合病院）

奥村洋平（老人保健施設ケアサポート新茶屋）

長内菜々子（幸田町北部地域包括支援センター）



○意思決定支援委員会

意思決定支援委員会では、2022年8月に「医療ソーシャルワーカーのための意思決定支援ガイドライン」を作成しました。今後も、会員の皆様の意思決定支援業務をサポートするため、会員相談窓口のモデル事業など新たな活動に取り組みます。意思決定支援に関心のある正会員の方であれば、所属先種別や経験年数を問いません。ぜひ、一緒にMSWが行う意思決定支援について考え、話し合いましょう！

活動概要は①定例委員会（年間5回程度）、②意思決定支援に関する研修事業の企画・運営（年1回程度）です。委員会の見学も歓迎いたします！

<委員会メンバー>

大藏真弓（尾北医師会）※委員長

大前早苗（佐藤病院）

櫛田あおい（海南病院）

佐藤隆信（公立陶生病院）

名取彩実（足助病院）

本多明美（春日井市民病院）

三浦十月（東海病院）

安田薫（海南病院）



○実践研究支援委員会

この委員会の役割は2つあります。

1つめは、会員の実践研究を支援する目的での研修の企画運営です。

2つめは、協会の実践研究にかかわる部分の支援になります。この内容はたとえば、学会や研究誌の査読等の基準や内容について、協会を支援することを想定しています。

委員会活動は、まだこれから委員会の中身を創っていく段階です。実践研究に関して興味関心のある方、学会発表経験者の方などぜひ、一緒に委員会活動を行いませんか。自分や専門職、職能団体の利益になることが、支援対象者の利益につながる活動を考えていきましょう。

< 委員会メンバー >

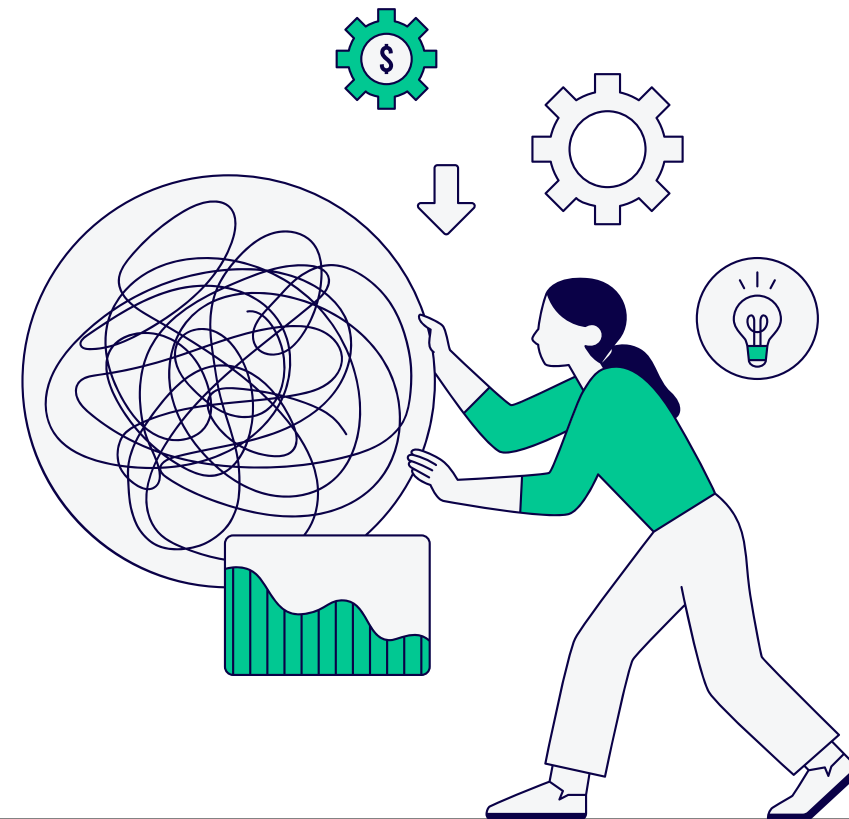
野田智子（江南厚生病院）※委員長

保正友子（日本福祉大学）

戸松しのぶ（海南病院）

早川裕子（豊橋市民病院）

明神麻帆（公立陶生病院）



○保証人問題委員会

保証人問題委員会では、保証人問題の解決を図るにあたって身元保証団体ありきという考え方ではなく、公的な制度・社会資源あるいは地域福祉ネットワークの活用によって解決を図ることを目標に身寄りのない方の保証人問題の解決に向けた取り組みを継続して行ってきました。

具体的な活動としては①協会会員を対象にした実態調査の実施、②保証人不在者対応マニュアルの作成・発行、③身寄りのない方の金銭管理や死後対応に関する研修会、④地域の関係機関とのシンポジウムの開催が挙げられます。

保証人問題は、医療機関内の連携にとどまらず、様々な機関との連携の中で実践していくことが求められるため、ぜひ様々な分野の会員と活動をしていきたいと思います。

< 委員会メンバー >

川本崇人（江南厚生病院）※委員長

花木奈々（介護老人保健施設あつたの森）

山根唯（名古屋セントラル病院）

渡邊啓后（安城更生病院）

大寺直子（中京病院）

服部あゆみ（千秋病院）

守屋可奈子（光寿会春日井病院）

橘延之（名古屋医療センター）

寺尾梓（佐藤病院）

縄田草太（豊橋ハートセンター）

田中幸喜（名古屋記念病院）



○退院・療養継続支援研修委員会

退院支援を取り巻く環境は目まぐるしく変化し続けています。少子高齢化と人口減少、それに対応すべく医療計画や介護保険事業計画、診療報酬や介護報酬など毎年のように制度、政策は変化し続けます。

当委員会ではこれまでの退院支援研修委員会という名称から、地域包括ケアシステムの構築の中で病院完結から地域完結を志向している現状を鑑み、退院・療養継続支援研修委員会と名称を変更し、退院後の療養継続の視点も含めて、クライアントの支援ができるような知識が身につく研修を企画、実施しています。クライアントニーズに沿って、適切な療養環境を整え、退院後の生活の構築を支援し、療養継続が適切に行えるような力を研修参加者が身に付けられるよう、実践に役に立つ企画内容であることを考えて実施してきました。委員会では年間10回ほど研修企画についての打合せを行い、年間2回の研修を企画、実施しております。打合せでは委員それぞれの地域や所属機関で起きていることなど幅広く情報交換、意見交換しながら企画を練っています。この情報交換、意見交換が自身の視野や知識を広げることにとっても役立っています。コロナ禍の影響もありオンラインでの研修を行ってまいりましたが、今後は参加型の研修も行いたいと考えております。MSWの業務の多くを占める退院支援、楽しく交流しながらより良い実践に向けて一緒に活動していただける方、を募集しております。委員会の見学だけでも大丈夫ですので、ご興味があれば、是非お声がけください。

< 委員会メンバー >

澤田昭宏（偕行会リハビリテーション病院）※委員長

坂本理恵（名古屋第二赤十字病院）

友松裕子（名古屋記念病院）

加藤圭子（ハートフルハウス）

長尾貴子（大雄会第一病院）

山下純子（新生会第一病院）

坂口佳大（白山リハビリテーション病院）



○現在募集のない委員会

・がんとソーシャルワーク研修委員会

がん関係の研修を企画しています。がん相談支援センターの配属など、がん分野に興味があるメンバーが集まっています。

・ソーシャルワーカーデー実行委員会

ソーシャルワーカーについて啓発するためのイベントの運営をしています。2023年度も愛知教育大学でソーシャルワーカーデーを実施しました。